

意見書案第 7 号

公的年金 2.5%の引下げに反対する意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を求める。

平成24年3月27日提出

提出者	中間市議会議員	掛田 るみ子
賛成者	〃	原田 隆博
	〃	田口 澄雄
	〃	安田 明美
	〃	堀田 英雄
	〃	中野 勝寛
	〃	下川 俊秀

公的年金 2.5%の引下げに反対する意見書

厚生労働省は、「特例水準」を解消するとして、3年間で2.5%の年金引き下げを行おうとしています。

当時、政府は高齢者の生活実態と経済への悪影響を考慮して、年金額を据え置いたものであり、適切な措置であったと思います。

然るに、今回、高齢者をとりまく状況は当時と比較しても、ますます厳しさを増しているにもかかわらず、「特例水準解消・2.5%削減」を強行することは、高齢者の生活を守る立場からも、地域経済を活性化する立場からも、認めることは出来ません。

以上の趣旨をかんがみ、次の事項を強く求めます。

記

- 1、公的年金の2.5%削減を行わないこと。
- 2、デフレ脱却のため、景気・経済対策を行い、緩やかな物価水準の上昇を確保すること。

以上、地方自治法第99条に基づき、意見書を提出する。

平成24年3月27日

中 間 市 議 会

提出先

内閣総理大臣 野 田 佳 彦 様
厚生労働大臣 小宮山 洋 子 様